
「明石の観光の現状と課題」

1. 「明石市・明石観光協会の取り組み」について
 2. 「データから見る現状と課題」について
-

1. 「明石市・明石観光協会の取り組み」について

市は、観光振興についての基本方針を策定し、
観光協会は、市の方針に沿って事業を展開する

○大蔵海岸みらいプロジェクトの取組

※P4～P6 参照

○「日本の朝日百選」及び「日本の夕陽百選」認定(大蔵海岸)

※P7 参照

○明石市観光振興基本構想の改定に向けた明石市観光実態・ニーズ調査(2025年度)

※P21～P32 参照

○神戸マラソンの明石市域へのコース延伸(兵庫県・神戸市との連携)

※明石市内の経済波及効果 5.6億円(試算値)

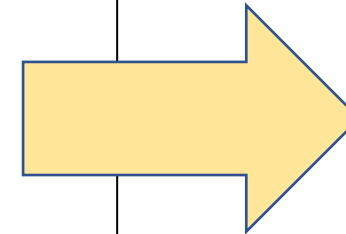
昨年度（2025年度）、観光振興基本構想の改定に先駆け、各界の有識者の方々に参画いただく「大蔵海岸みらいプロジェクト アドバイザリーボード」を立ち上げ、大蔵海岸の価値向上に向けた検討を進めたが、そのなかでのご意見・ご提案を「観光振興基本構想」のなかに反映させていく。

【アドバイザリーボードのなかで頂いたご意見・ご提案】

- **明石としてのコアバリュー**を整理することが必要
- 現在も賑わいを見せる**明石駅周辺エリア**と、**東外港地区の開発、大蔵海岸の魅力向上**というプロジェクトを繋ぎ合わせることで、新たな人流、賑わいを創出していくべき

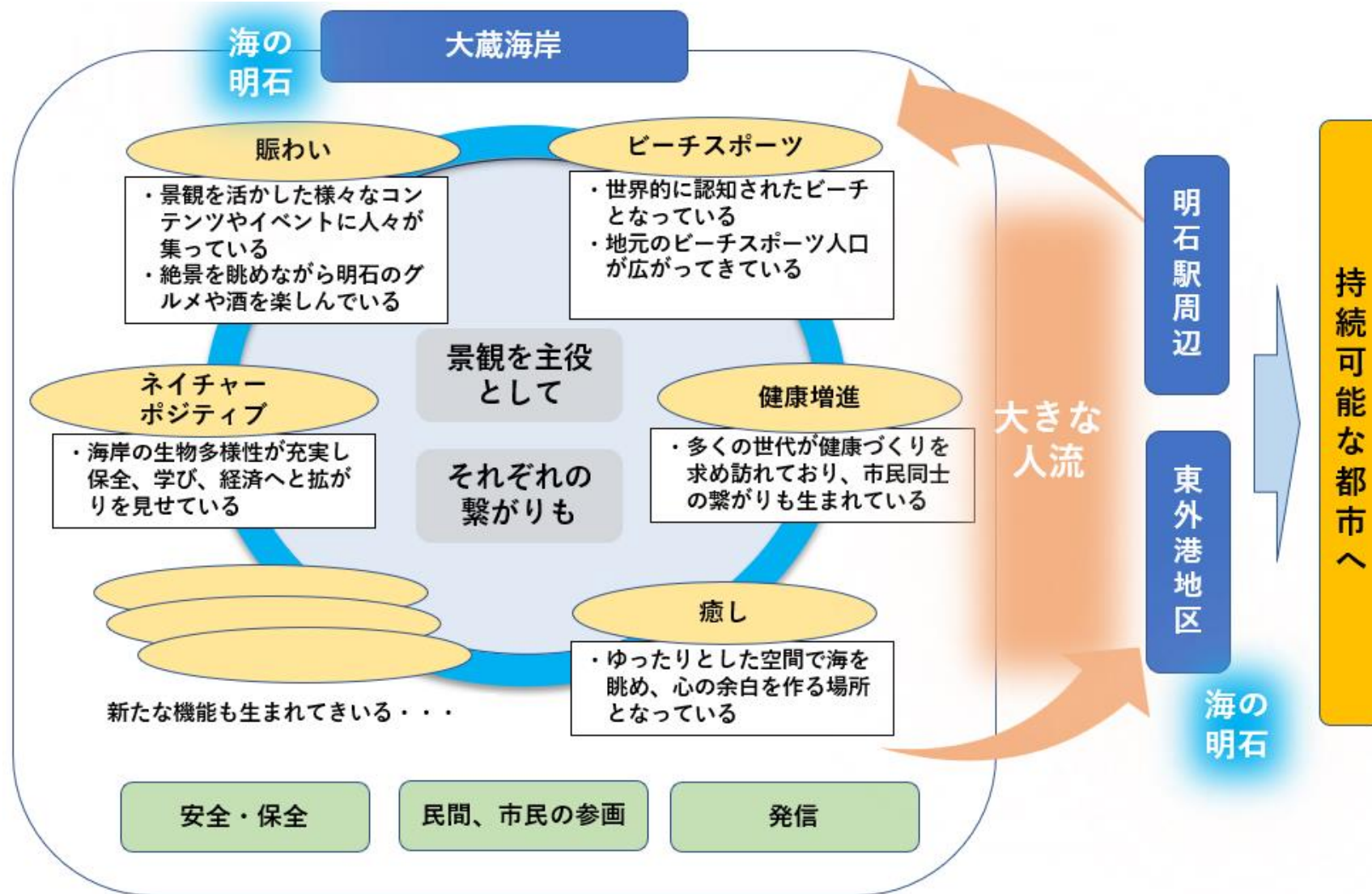


反映させていく

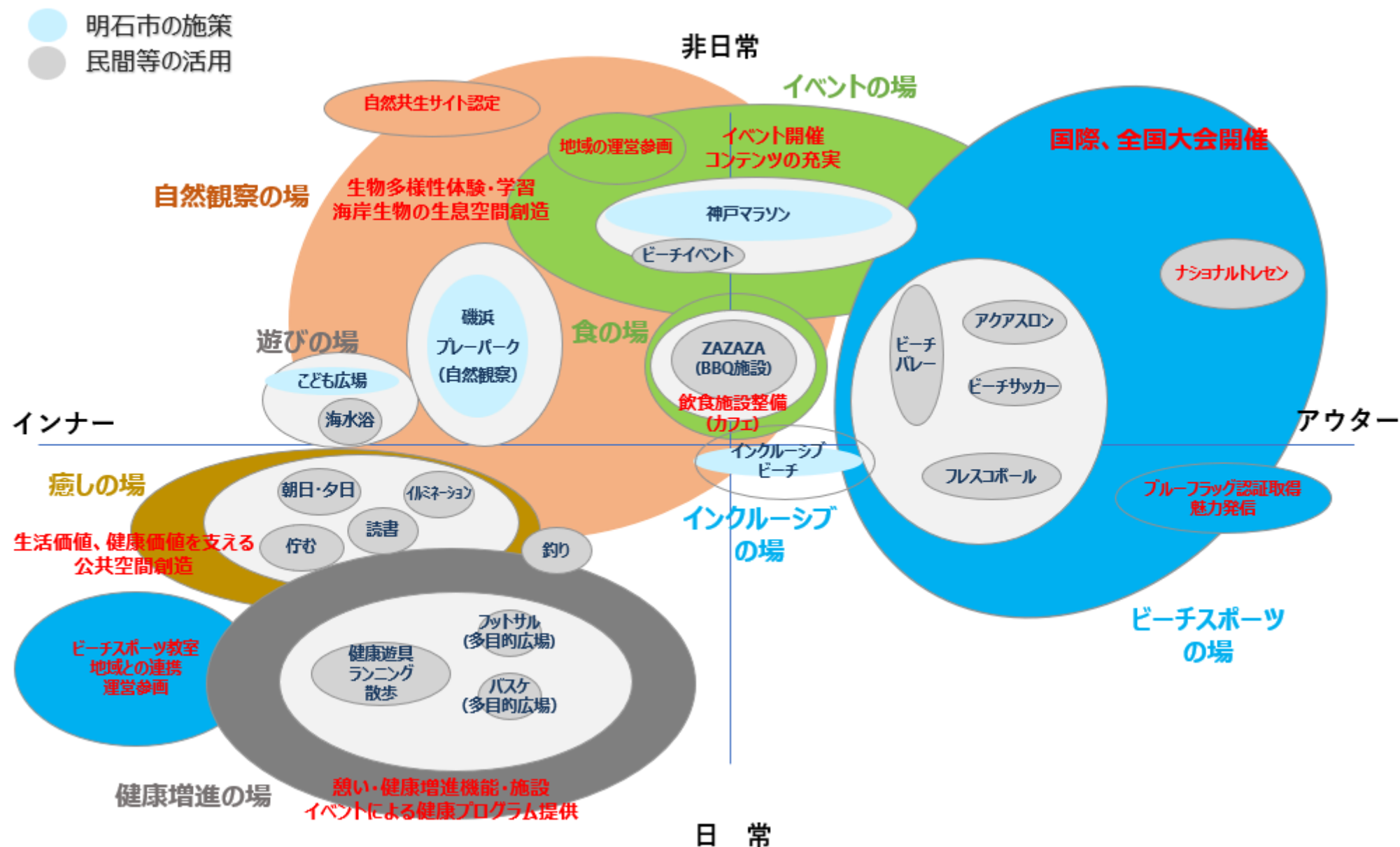


観光振興基本構想

- 外から呼び込む観光だけではなく、**市民も楽しむ観光**も考えるべき



今年度は、賑わいの創出、ビーチスポーツの推進、ネイチャーポジティブの推進についてワーキンググループを立ち上げ、取り組み内容の検討などを進める





大蔵海岸公園から見た朝日



大蔵海岸公園から見た夕陽

(一社)明石観光協会では、前回の明石市観光振興基本構想(平成23年3月策定)より以下8つの施策の方向性のもと事業を実施

◎ プログラム開発の重視

- I 市内滞在時間の延長
- II 潜在的な来訪需要の喚起
- III 回遊の利便性の向上

◎ 広報・宣伝の重視

- IV 観光プロモーションの強化
- V 広域連携の推進
- VI 外国人旅行者の誘客促進

◎ 協働推進の重視

- VII 観光の担い手育成
- VIII 協働で推進する体制づくり

◎ プログラム開発の重視

I 市内滞在時間の延長

●市内の体験施設や体験プログラムといった観光コンテンツの開発・情報発信

(明石浦漁業協同組合セリ市特別見学など)



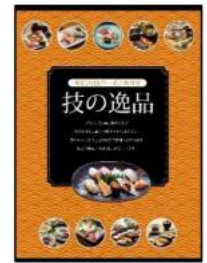
明石浦漁業協同組合セリ市特別見学

●各種クーポン券の制作・販売

(明石のおいしい食べ歩きクーポン「もぐチケ」、明石の鮎クーポン「技の逸品」など)



もぐチケ



技の逸品

●交通事業者との連携

(交通事業者が運営するオンラインサービスでの各種クーポン券の販売・PR、イベント協力など)

●ユニバーサルツーリズムの推進

(市内観光施設バリアフリー調査、ホスピタリティ研修会開催など)

●観光パンフレット等作成・更新

(明石巡り、明石焼(玉子焼)えんむすび、召しませあかし／手みやげ、あかしなど)



【召しませ、あかし／手みやげ、あかし

Ⅱ 潜在的な来訪需要の喚起

- **フィルムコミッション対応**
(ロケ地誘致活動及びロケ地受入支援など)
- **メディアを活用した明石のプロモーション、情報発信**
(プレスリリースの実施、メディアや雑誌社等に対し画像素材等の提供、観光情報の発信など)
- **ホームページ、SNSを活用した情報発信**



映画撮影支援

Ⅲ 回遊の利便性の向上

- **あかし案内所の運営**
(来訪者への観光案内・相談、利用者へのユニバーサル対応など)
- **みんなのトイレ及び子育てサポート室の運営**
(みんなのトイレ(男性トイレ・女性トイレ・多目的トイレ)及び子育てサポート室内の授乳室・おむつ替え台の衛生管理等など)



あかし案内所

◎ 広報・宣伝の重視

Ⅳ 観光プロモーションの強化

●観光客誘致・旅行会社対応

(大蔵海岸で開催されるスポーツイベント参加団体・個人観光客等への宿泊斡旋など)

●明石の特産品を活用したオンラインショッピングサイト運営

(観光協会会員店舗が出店・販売を行う「明石メルカート～召しませ、あかし～」(ECサイト)の運営及びPRなど)



明石メルカートPRチラシ

Ⅴ 広域連携の推進

●兵庫県、ひょうご観光本部、神戸観光局(神戸DMO)、東播磨産業・ツーリズム振興協議会との連携

(ひょうごフィールドパビリオンの実施、ひょうご観光本部や神戸観光局と連携しFAM(旅行会社等を対象にした招聘事業)ツアーの受け入れ調整など)

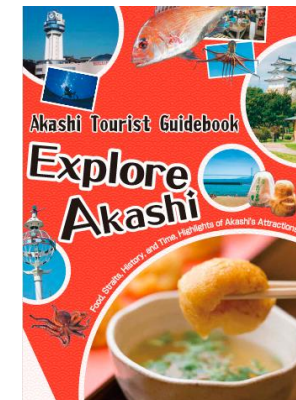


フィールドパビリオンPR

Ⅵ 外国人旅行者の誘客促進

●インバウンド素材及びコンテンツの開発、実施

(パンフレットの多言語化、インバウンド観光客向けクーポン券の販売など)



英語版観光パンフレット

◎ 協働推進の重視

VII 観光の担い手育成

- **ぶらり子午線観光ガイド連絡会との連携**
(DISCOVERWESTハイキングの実施、新規ガイド募集など)

VIII 協働で推進する体制づくり

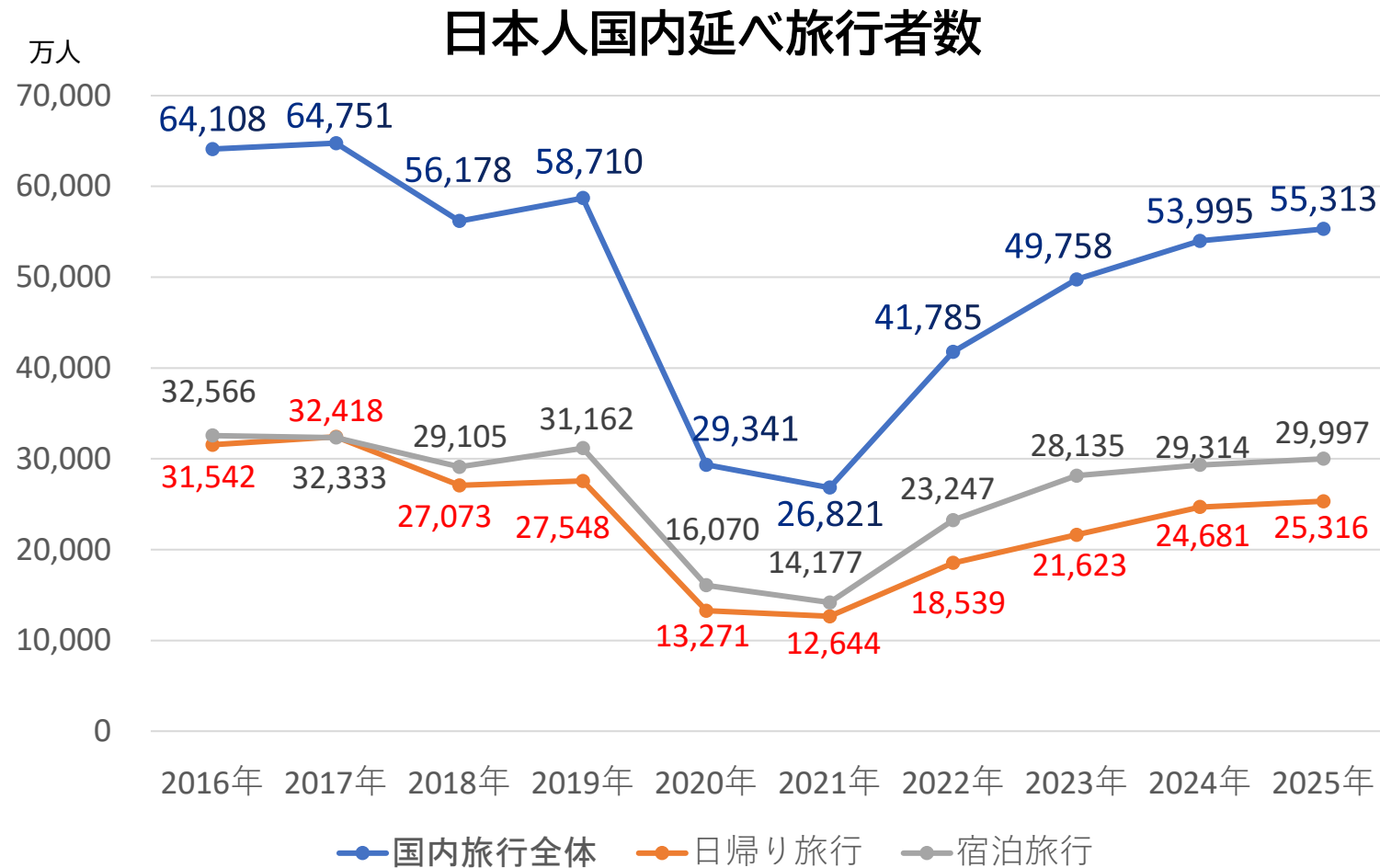
- **市内イベントへの後援、協力等**



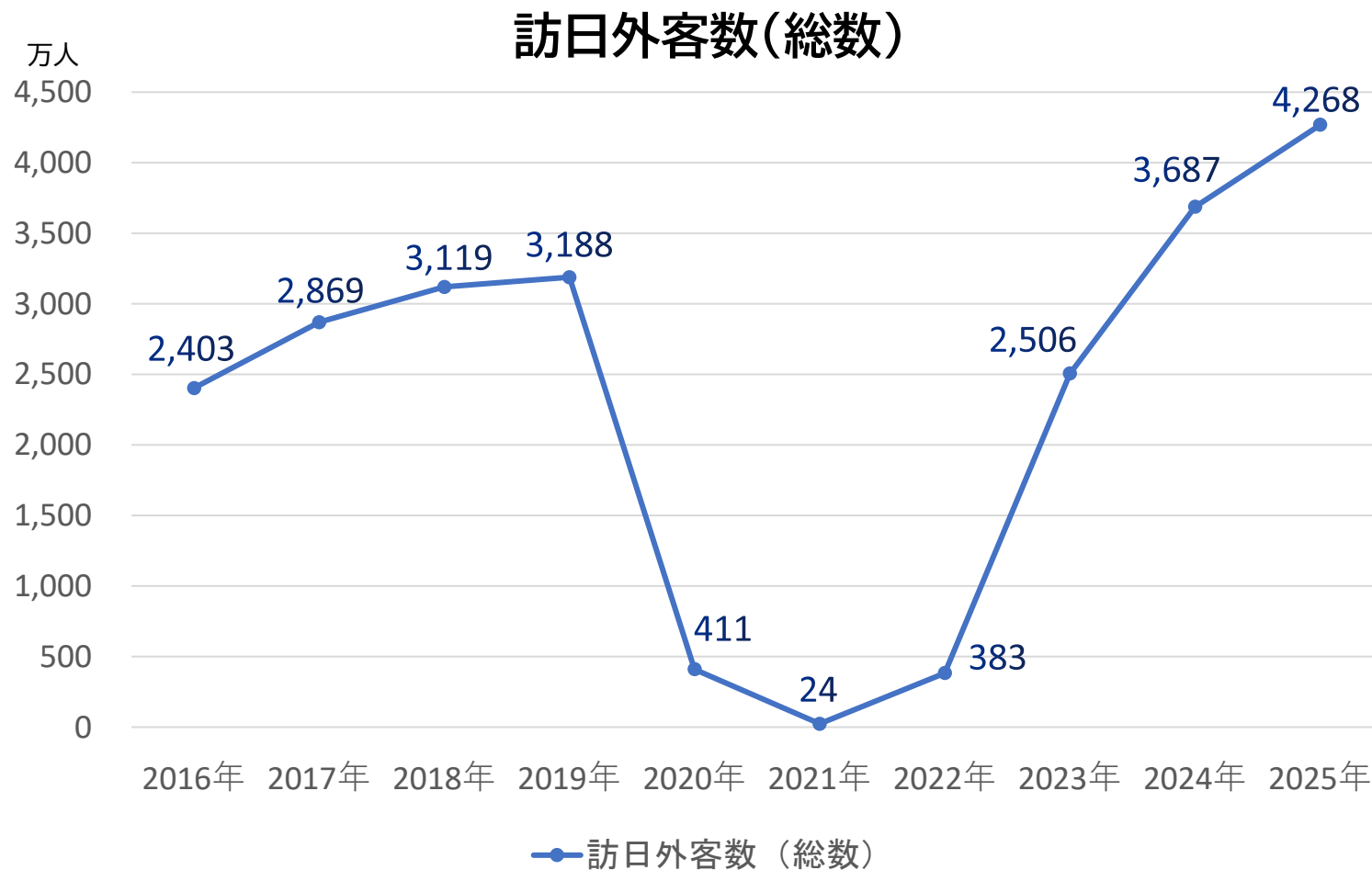
ぶらり子午線観光ガイド連絡会

2. 「データから見る現状と課題」について

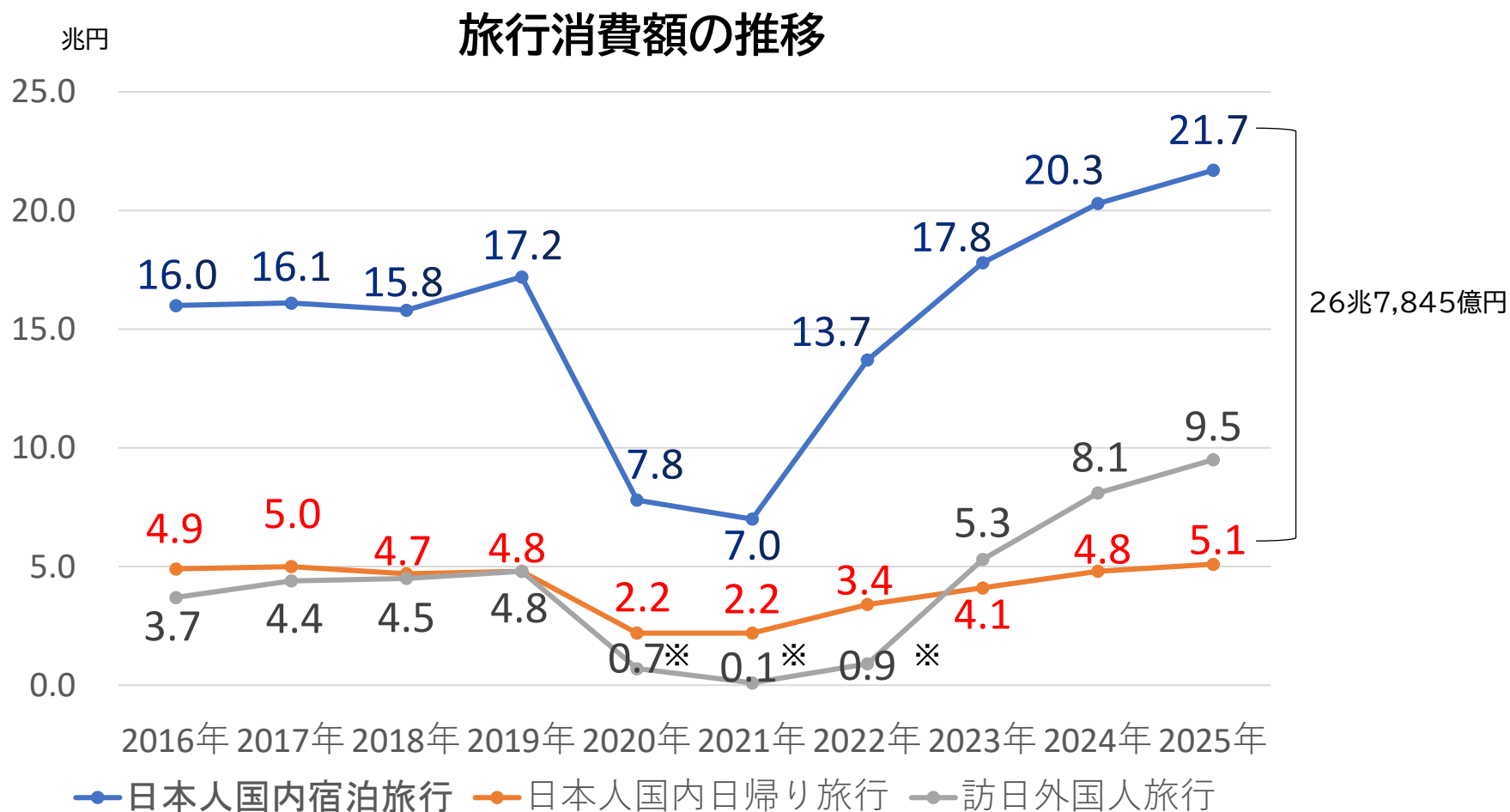
日本人国内延べ旅行者数の動向は、2025年5億5,313万人(前年比2.4%増)、うち宿泊旅行は、2億9,997万人(前年比2.3%増)、日帰り旅行は、2億5,316万人(前年比2.6%増)であった。



外国人旅行者の動向は、2019年の訪日外国人旅行者数(訪日外客数)※は、3,188万人であったが、2020年からは、新型コロナウイルス感染症の影響等により大きく減少となった。その後、回復し、2025年には、過去最高の4,268万人となった。



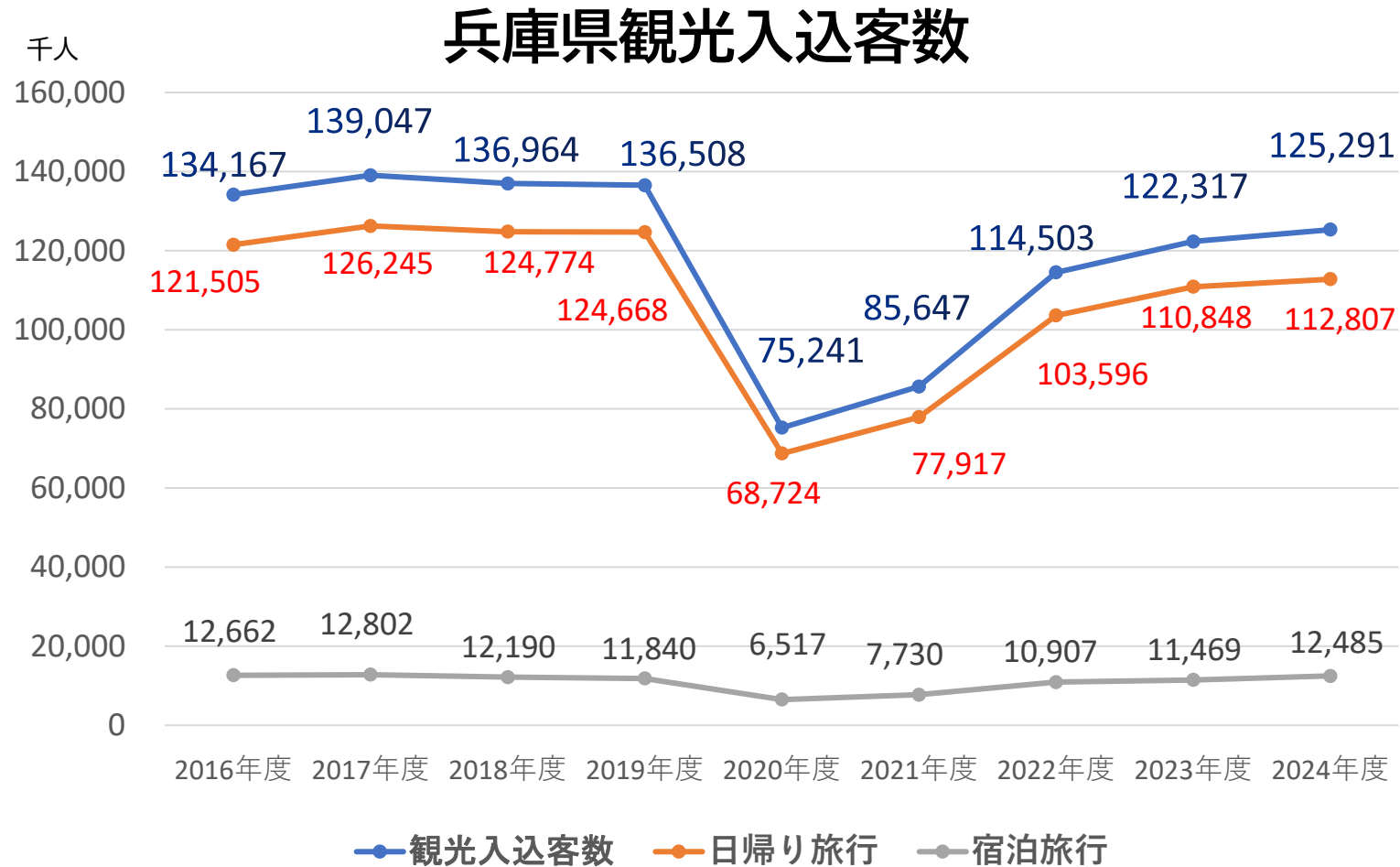
2025年の日本人国内旅行消費額は26兆7,845億円(前年比6.5%増)であった。
日本人国内旅行消費額のうち、宿泊旅行消費額は21兆7,211億円(前年比6.8%増)、
日帰り旅行消費額は5兆634億円(前年比5.0%増)であった。



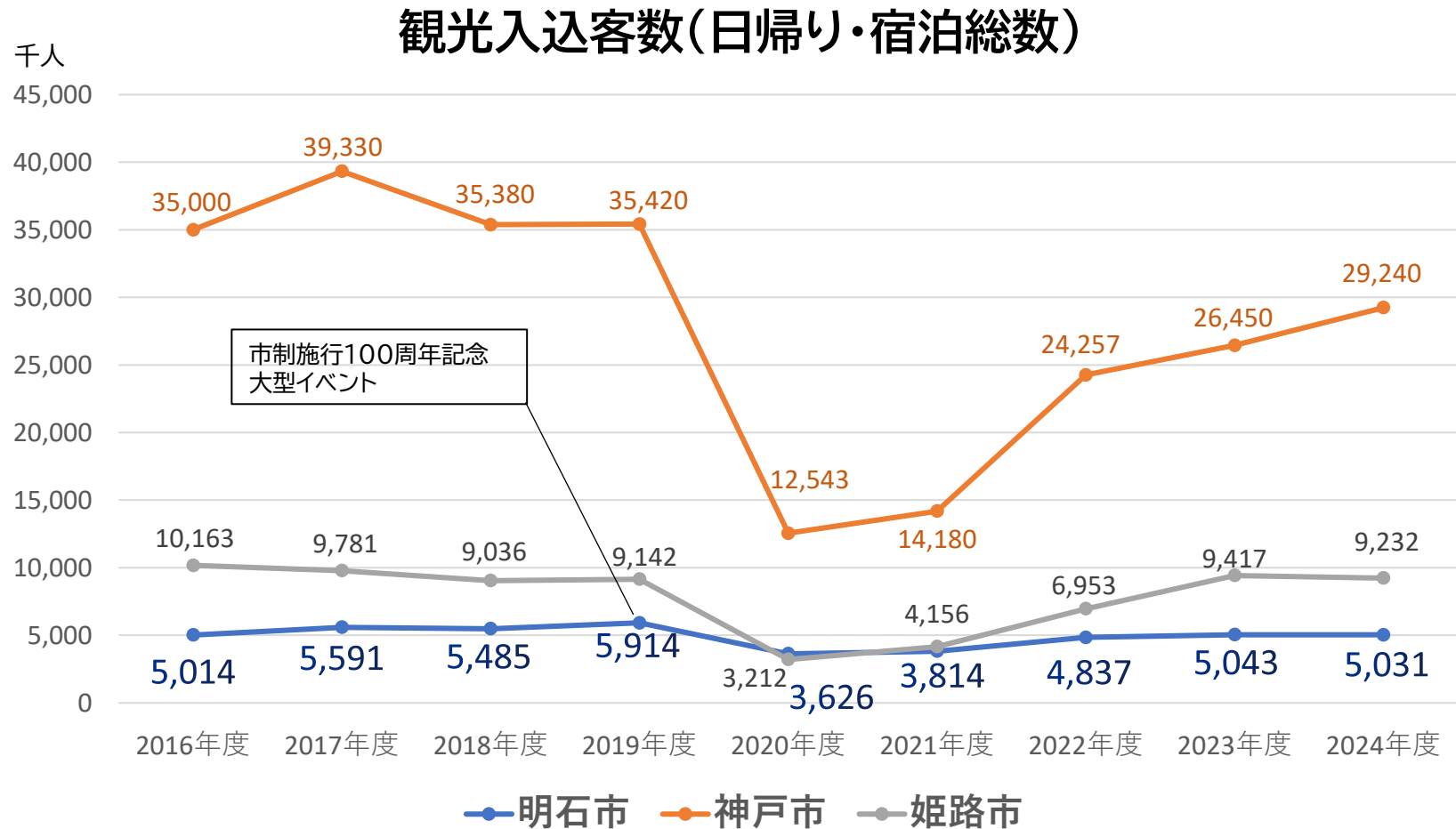
※ 「訪日外国人旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により試算値

「観光庁「旅行・観光消費動向調査」より

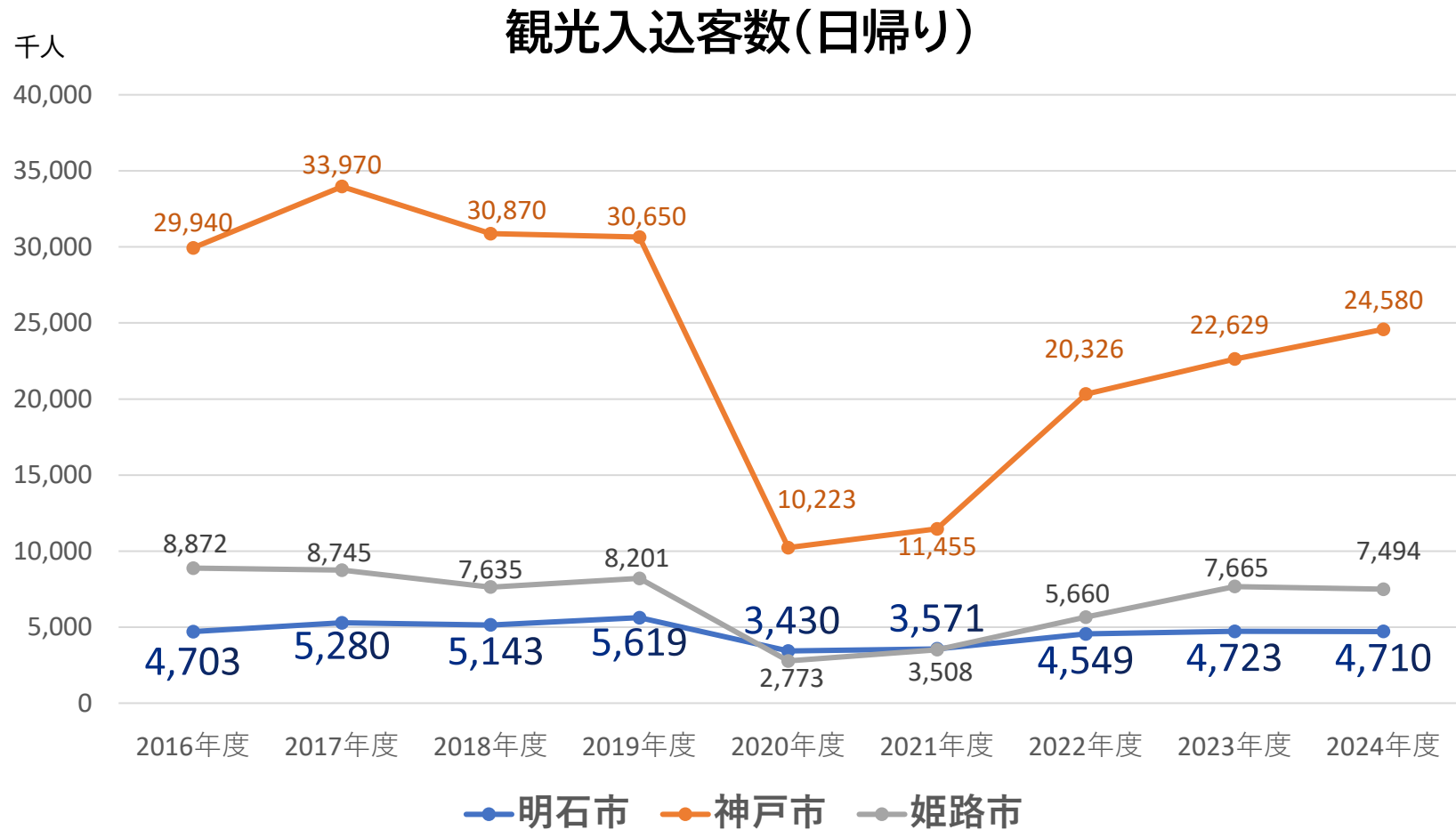
2024年度の兵庫県の観光入込客数は、1億2,529万人であった。
直近のピークは、2017年度の1億3,904万人であった。



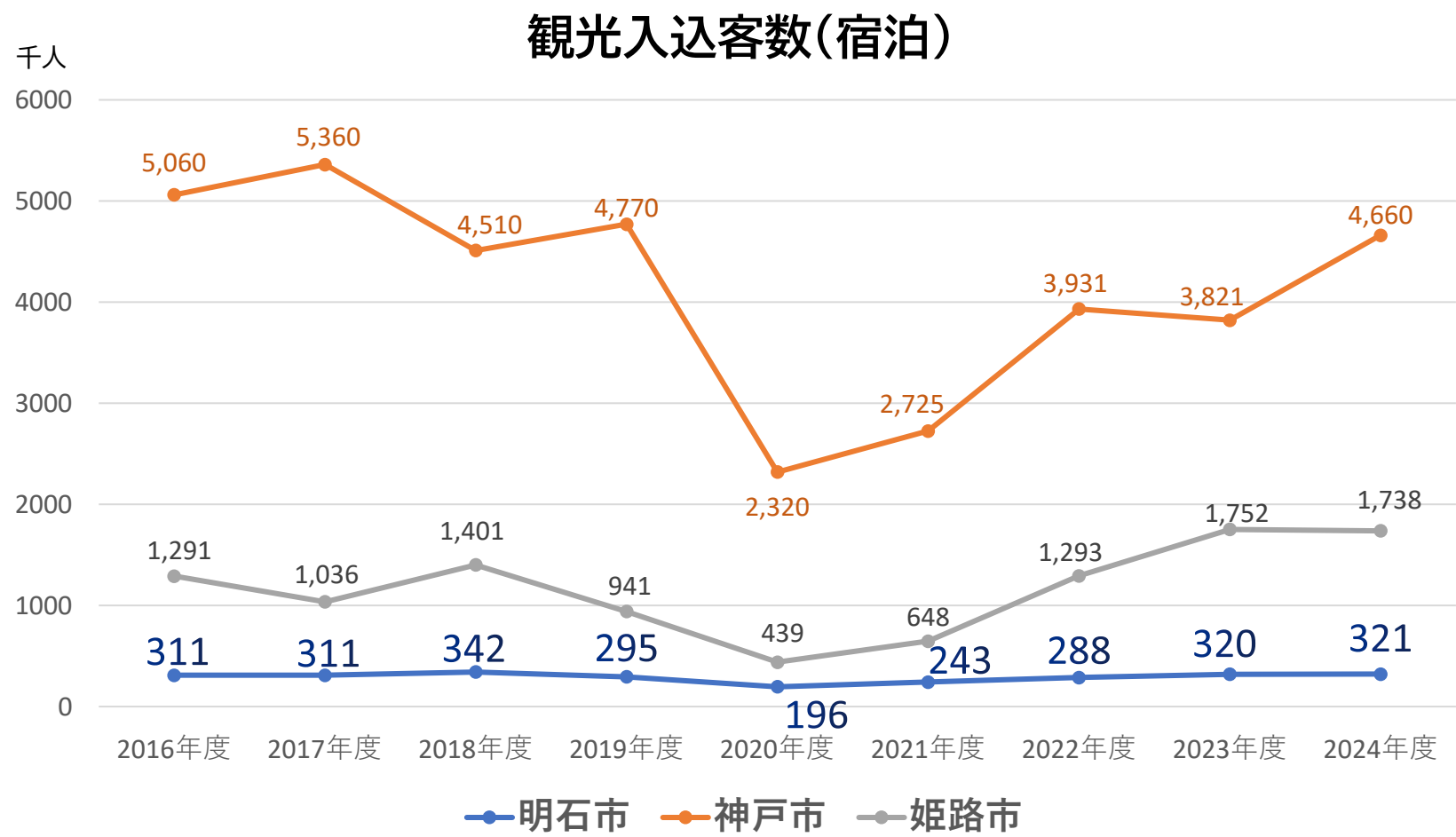
2024年度の明石市の観光入込客数は、5,031千人であった。
直近のピークは、2019年度の5,914千人であった。



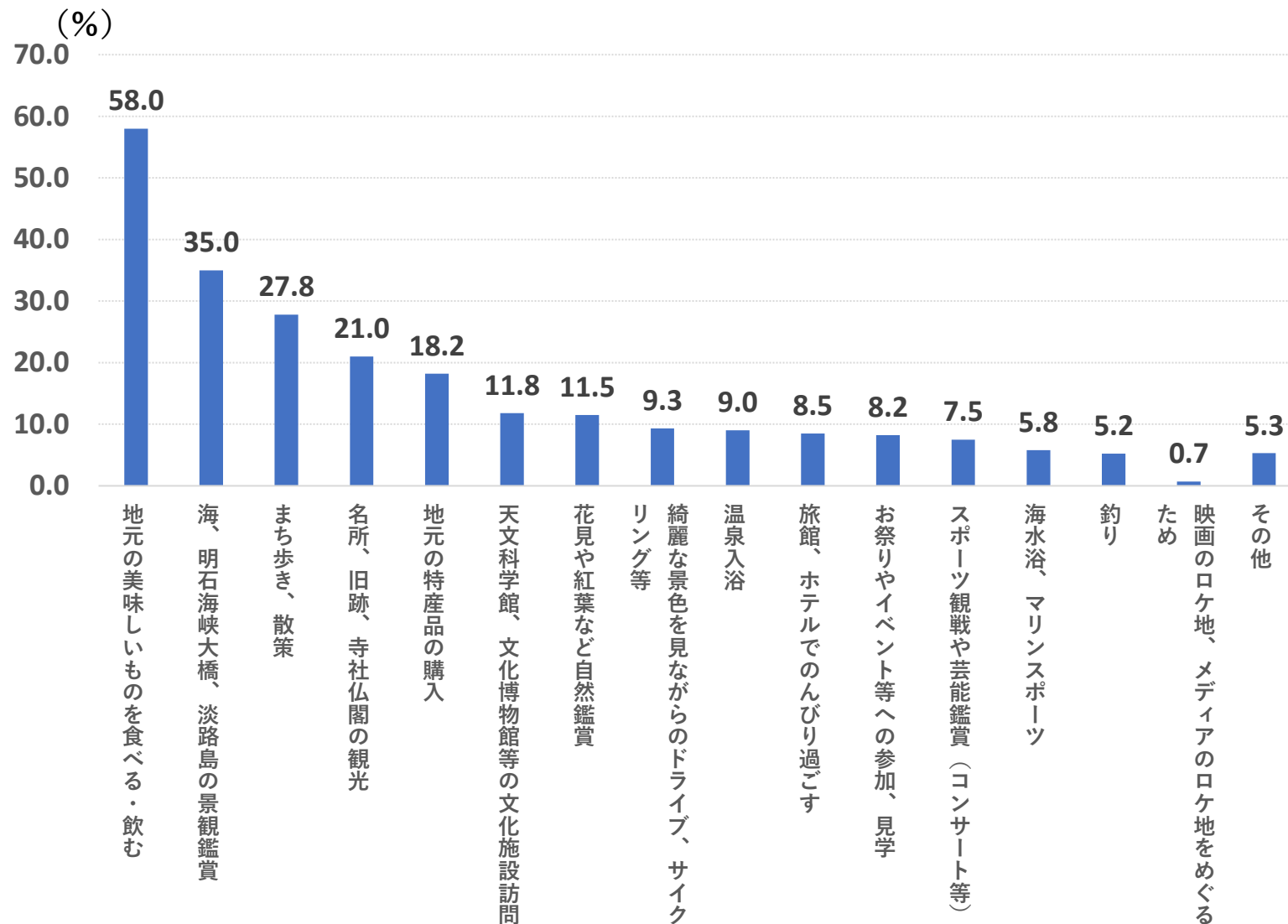
2024年度の明石市の(日帰り)観光入込客数は、4,710千人であった。
直近のピークは、2019年度の5,619千人であった。
2024年度では、総入込客数5,031千人からみた日帰り客の割合は、93.6%である。



2024年度の明石市の観光入込客数は、321千人であった。
直近のピークは、2018年度の342千人であった。

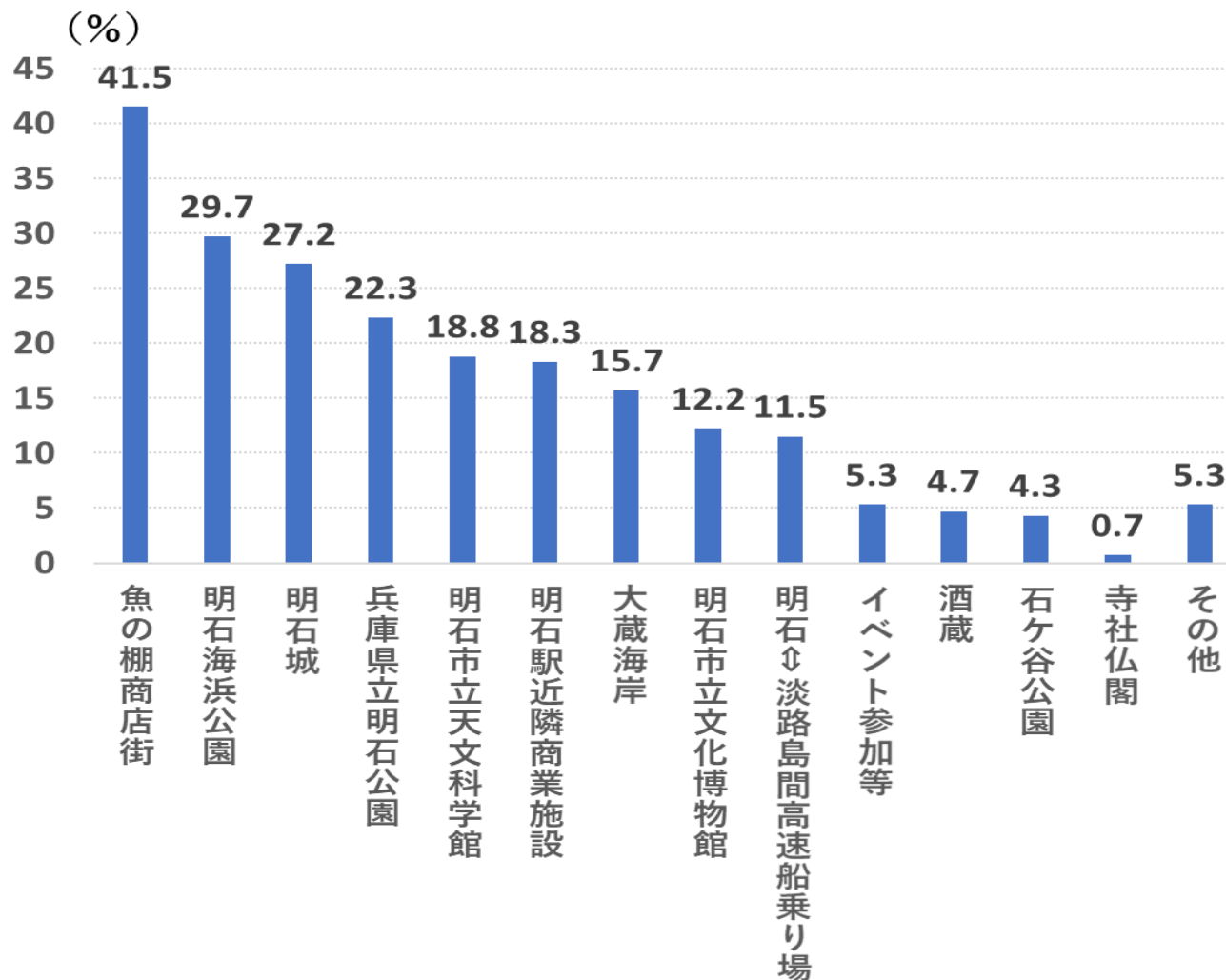


明石市への観光目的は、「地元の美味しいものを食べる・飲む」が最も多く、「海、橋、島の景観鑑賞」、「まち歩き」がそれに続く目的となっている。

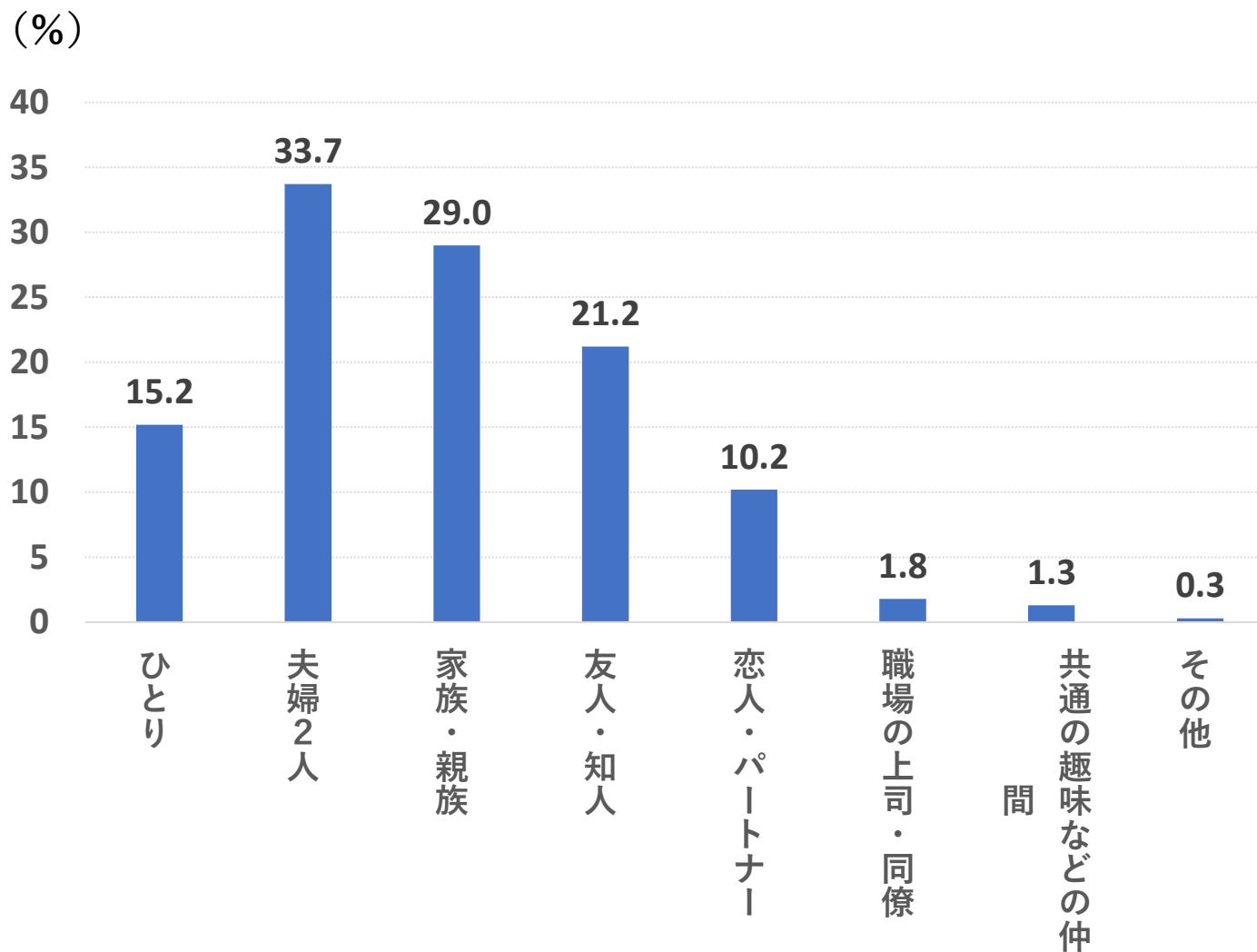


「魚の棚商店街」が41.5%と最多であり、「明石海浜公園」「明石城」と続いている。

※「明石海浜公園」は「大蔵海岸公園」や「明石海峡公園」と混同されている可能性あり

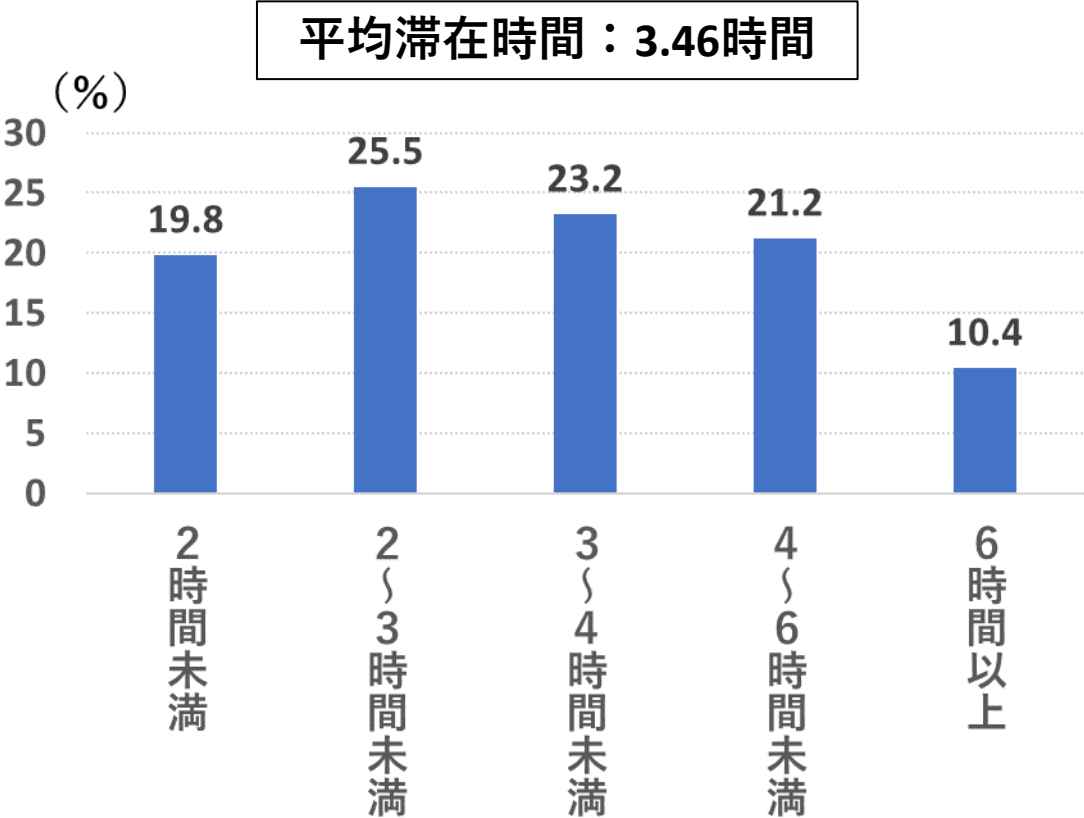
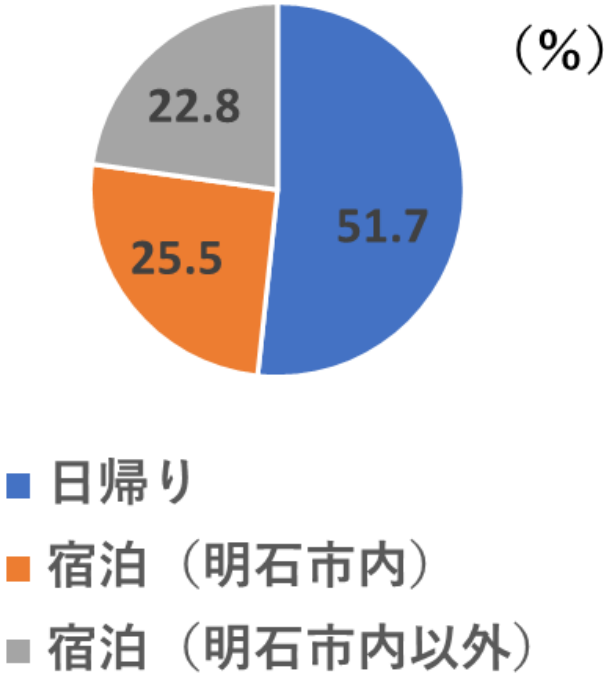


「夫婦2人」が33.7%と最も多く、「家族・親族」「友人・知人」の順となっている。



滞在時間（日帰りなのか、宿泊しているのか？どのぐらいの時間、滞在しているのか？）24

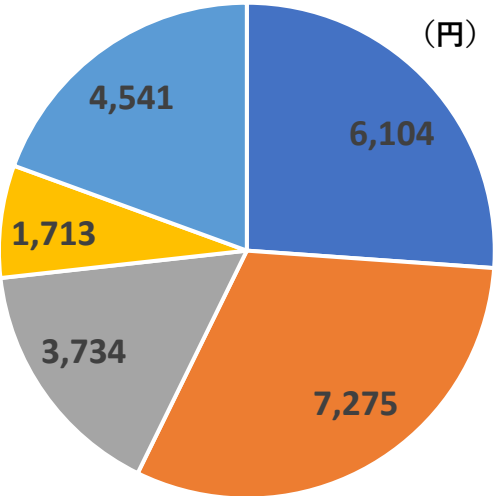
明石での宿泊は25.5%と少なく、51.7%は日帰りする状況となっている。また、明石での平均滞在時間は3.46時間と短く、2～3時間未満が最も多い。



宿泊、日帰り全体での平均消費額は23,369円で、飲食代が7,275円と最も多くなっている。宿泊の平均消費額は43,866円、日帰りの平均消費額は12,504円である。

【全体】

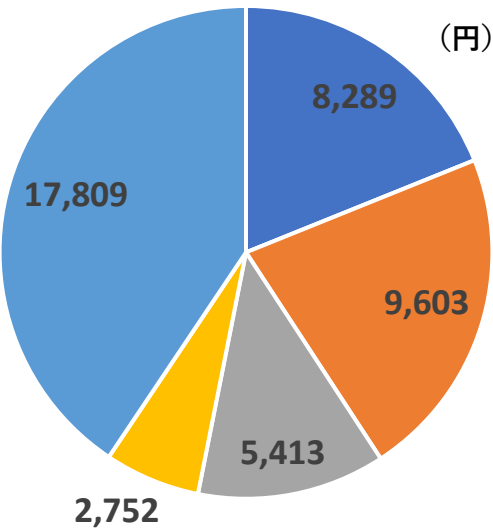
平均消費額 23,369円



【宿泊】

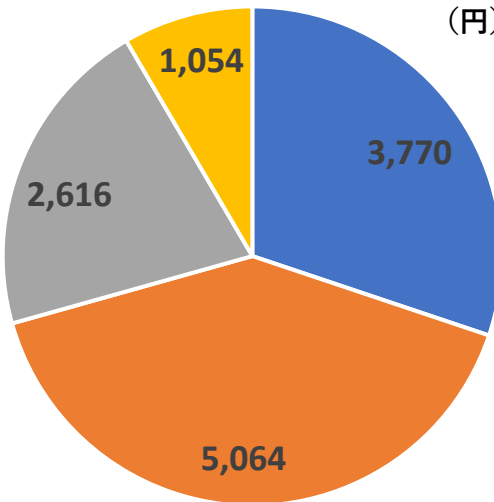
※明石市内への宿泊者

平均消費額 43,866円



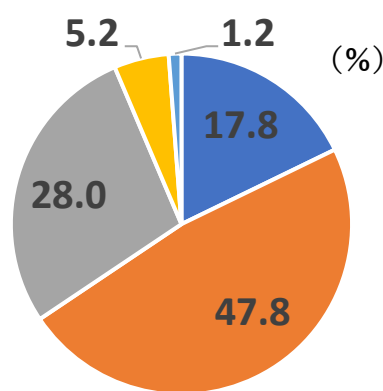
【日帰り】

平均消費額 12,504円

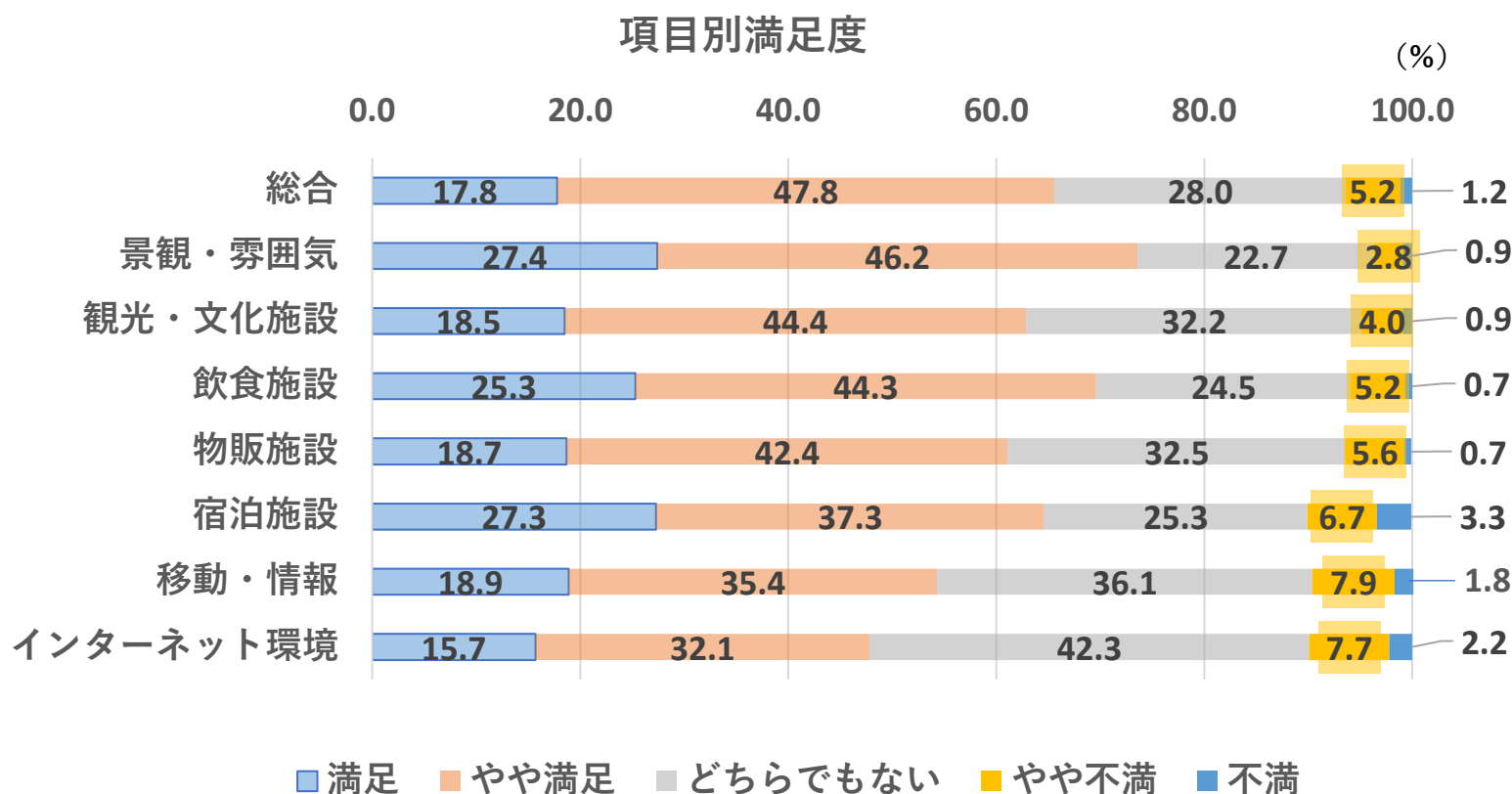


■ 交通費 ■ 飲食代 ■ 土産品購入代 ■ 入場料等 ■ 宿泊費

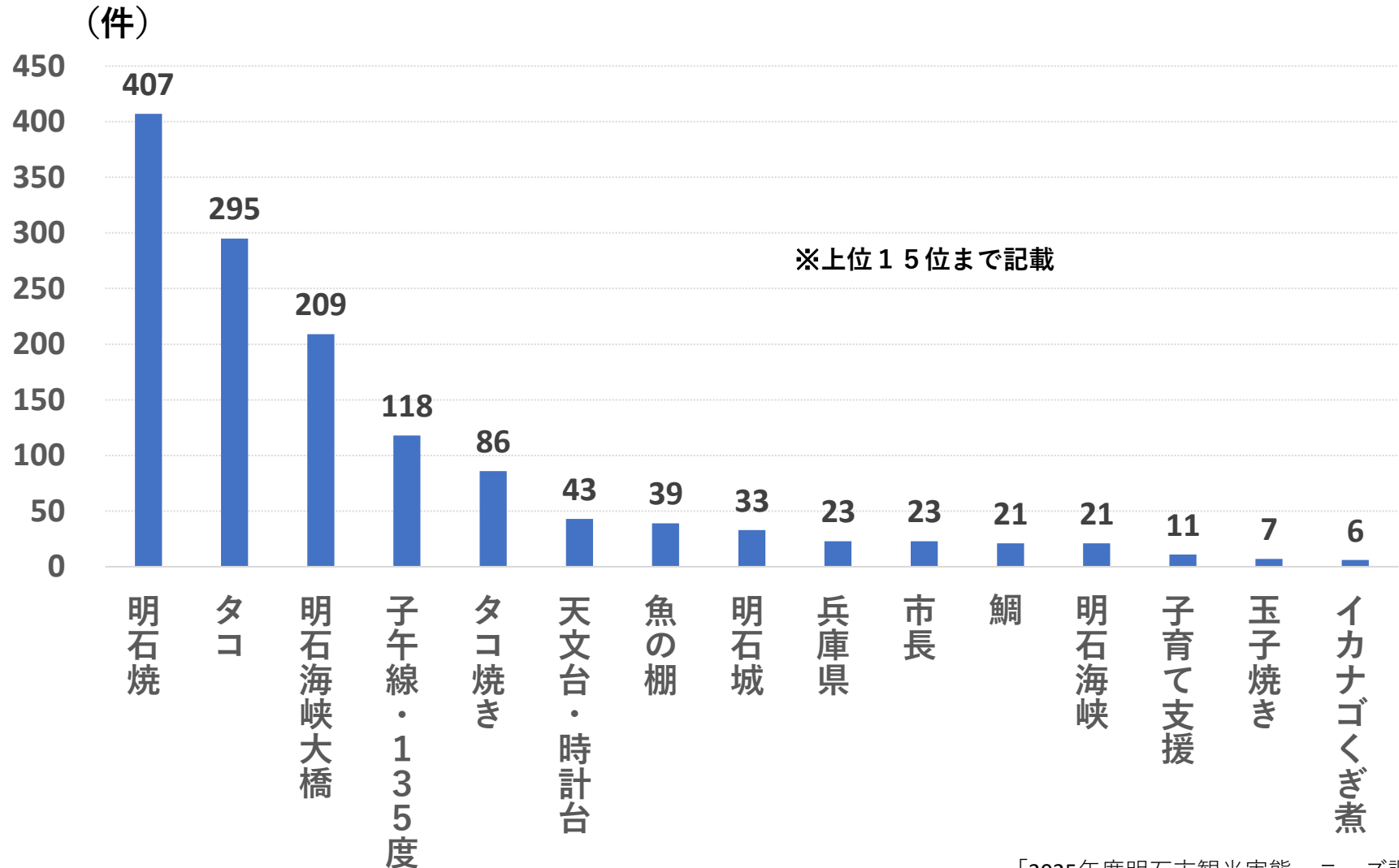
全体の65.6%（「満足、やや満足」）が総合的に見て明石の観光に満足したと評価しているが、そのなかの「満足」は17.8%に留まっている。
項目別で見ると、「景観・雰囲気」は73.6%、「飲食施設」は69.6%が「満足、やや満足」と評価しているが、「インターネット環境」は47.8%、「移動・情報」は54.3%が「満足、やや満足」と総合評価（65.6%）を大きく下回っている。



- 満足
- やや満足
- どちらでもない
- やや不満
- 不満

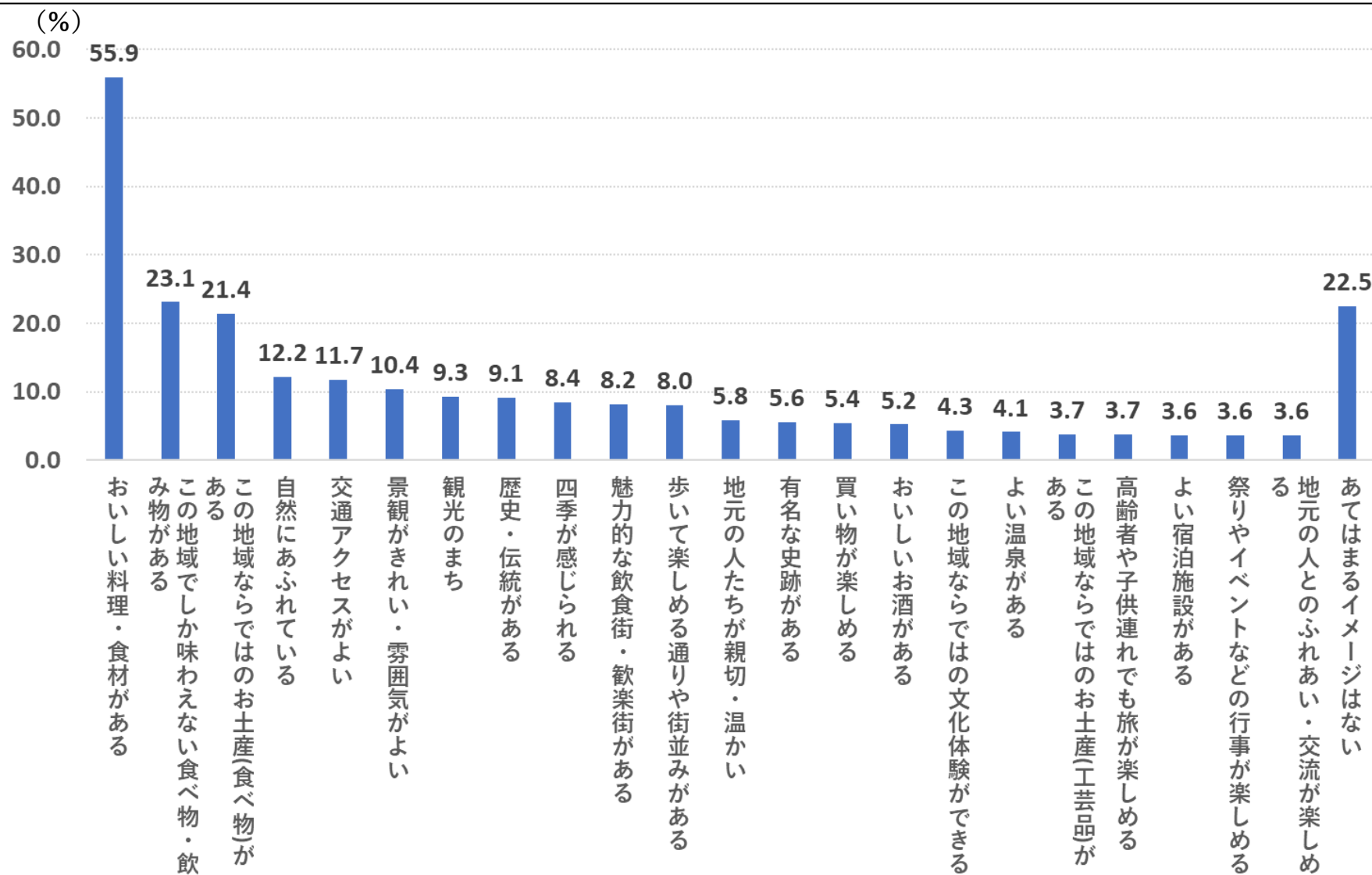


「明石焼」が最も多く、「タコ」「明石海峡大橋」「子午線、135度」と続いている。観光スポットとしては「天文台・時計台」「魚の棚」「明石城」が挙げられた。



助成想起 （「明石」のイメージを選択肢のなかから選んでもらうと・・・）28

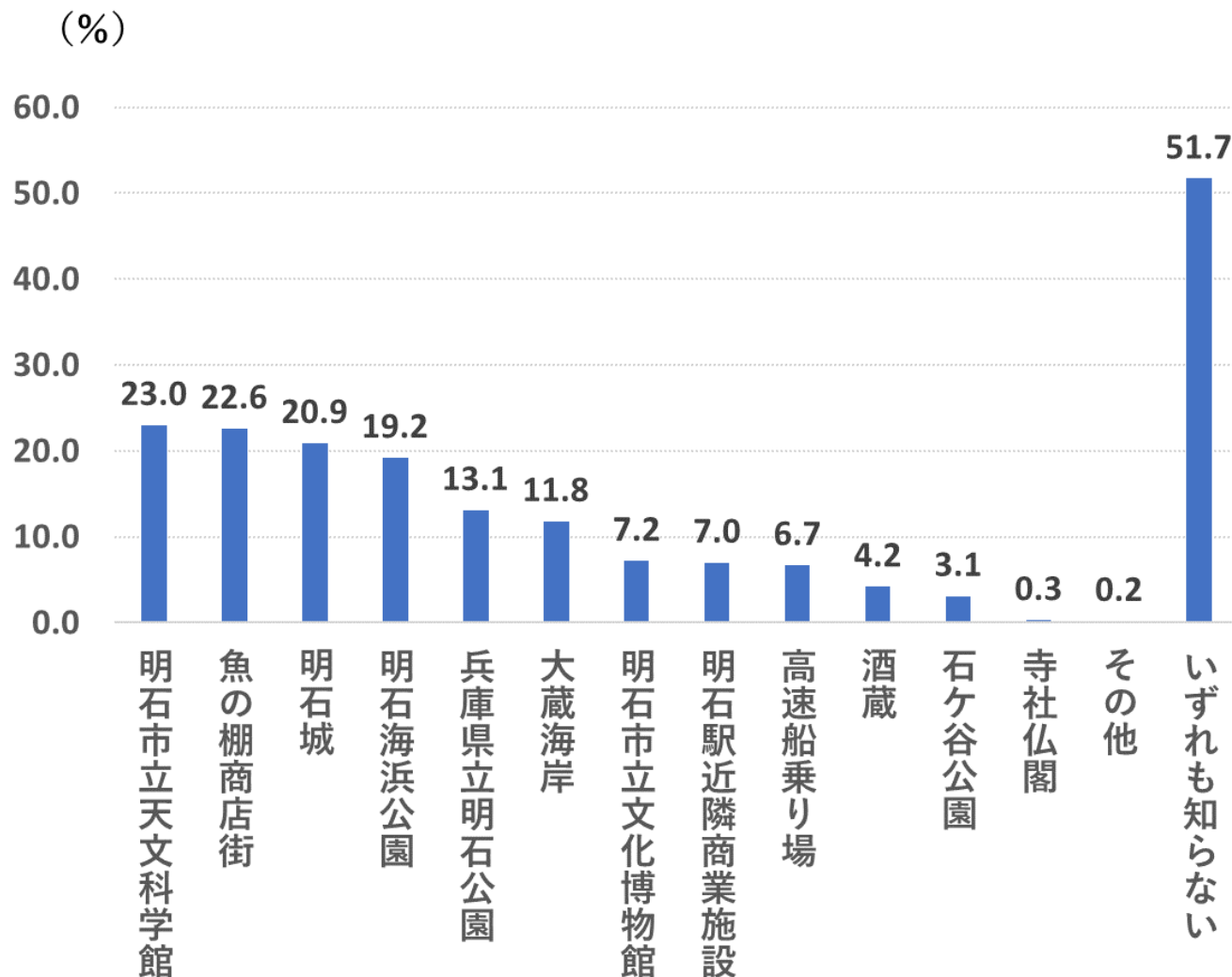
「おいしい料理・食材がある」が55.9%と最も多く、上位3つが「地域の食」に関するものとなっている。



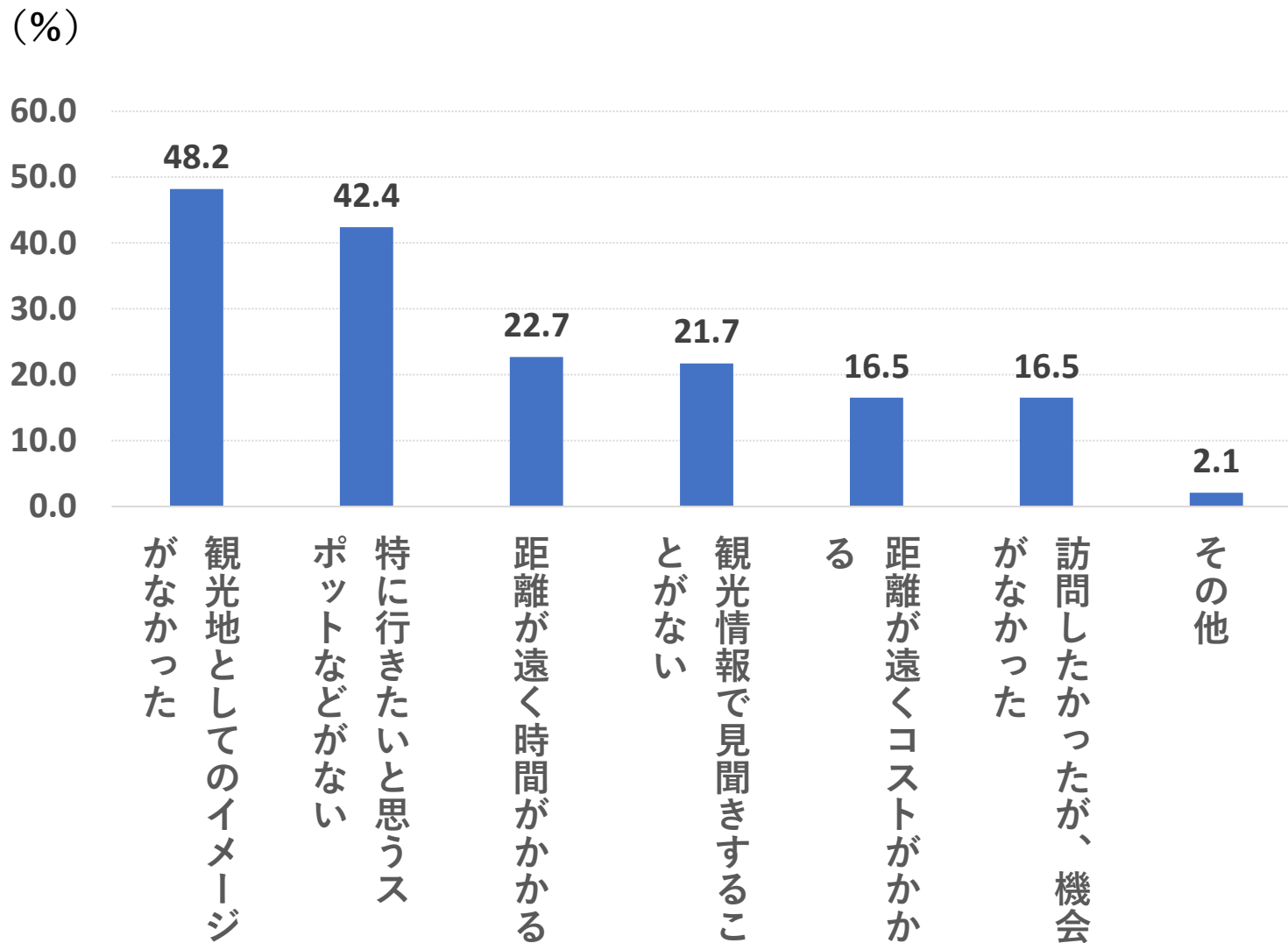
提示したスポットのいずれかを認知していたのは全体の48.3%。関西の66.5%に対し、首都圏は27.7%、中国・四国地方は45.7%と認知度が低い。
スポット別では、「天文科学館」「魚の棚商店街」「明石城」の順で認知度が高い。

提示したスポットのいずれかを
認知する割合

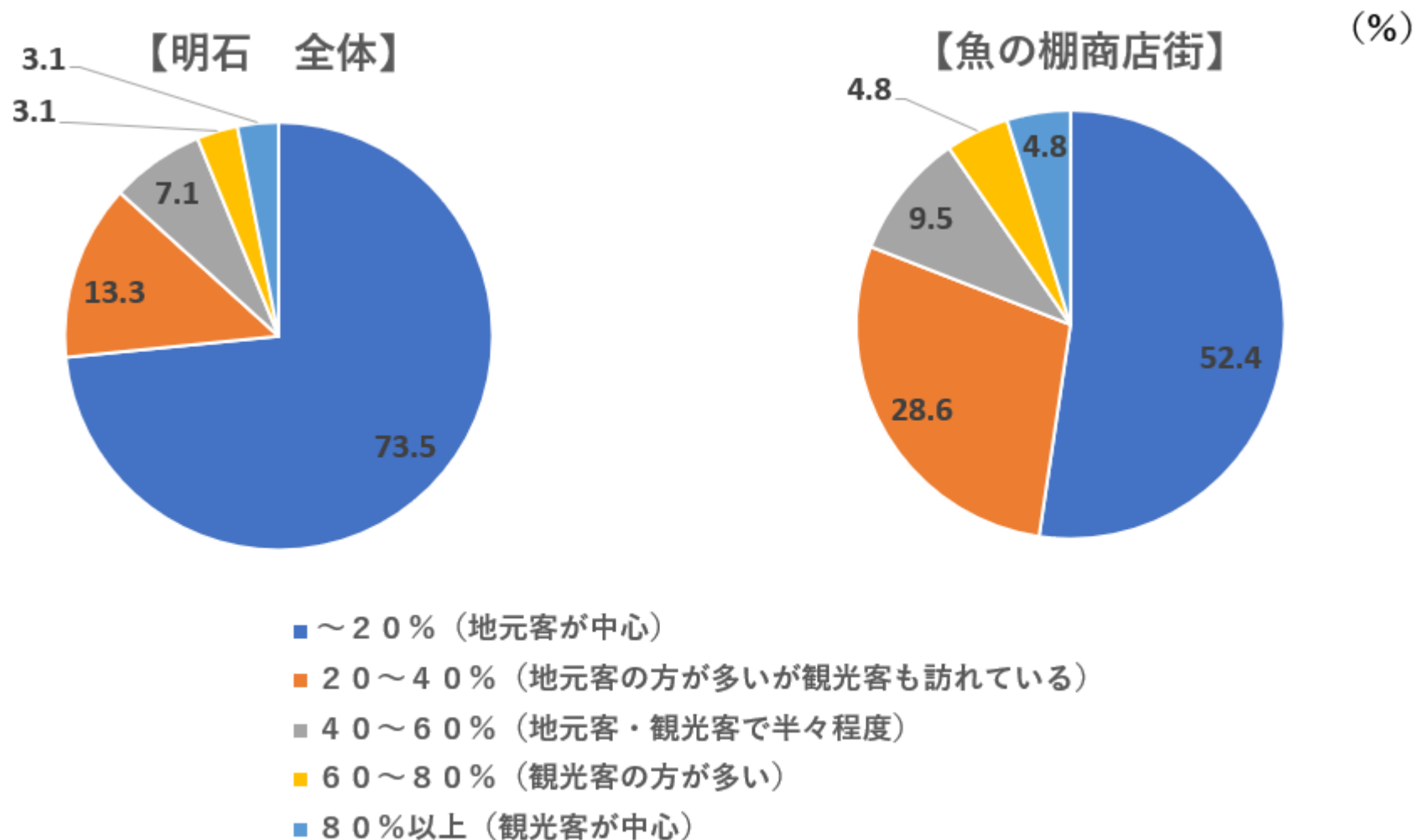
	(%)
首都圏	27.7
関西	66.5
中国・四国	45.7
全体	48.3



明石市を訪れたことがない者を対象にその理由をたずねたところ「観光地としてのイメージがなかった」が48.2%と最も多く、「特に行きたいと思うスポットがない」が42.4%となっている。

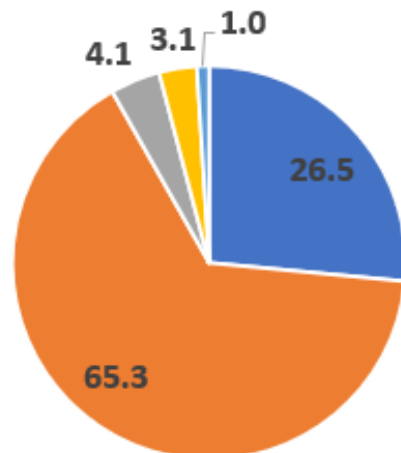


「地元客が中心」という回答が、明石全体では86.7%、魚の棚商店街では81.0%であった。「観光客が多くを占める」という回答は、明石全体では6.2%、魚の棚商店街では9.6%であった。

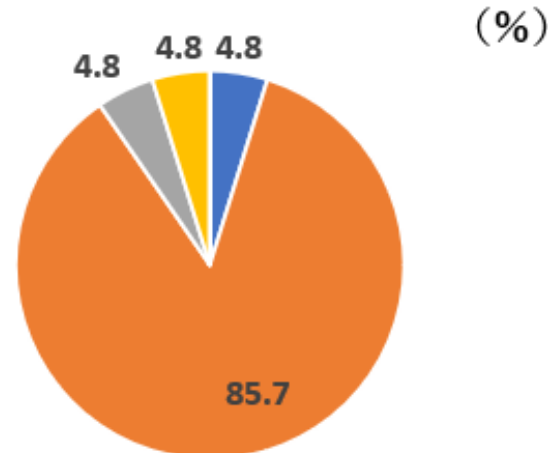


「10%未満」という回答が最も多く、明石全体では65.3%、魚の棚商店街では85.7%であった。「全くない」という回答は明石全体では26.5%、魚の棚商店街では4.8%であった。外国人旅行者を国別で見ると、東アジアが中心となっている。

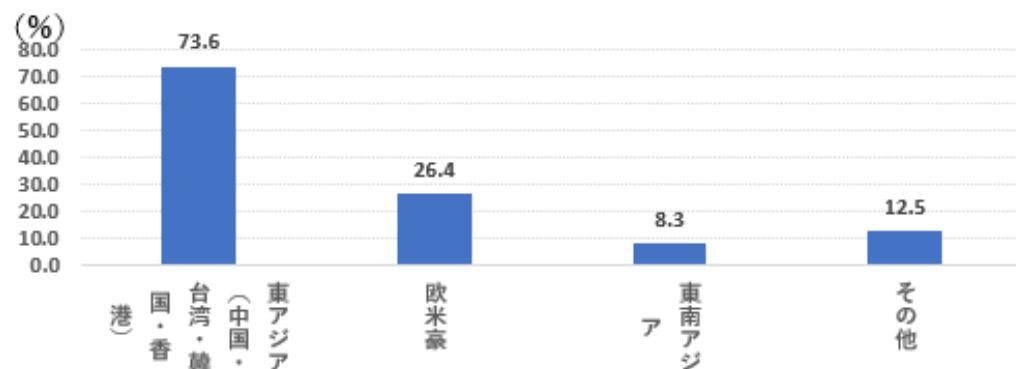
【明石全体】



【魚の棚商店街】



■ 全くない ■ 10%未満 ■ 10~20% ■ 20~40% ■ 40~60%（地元客・観光客で半々程度）



1. 来訪者の滞在時間の短さ

日帰りが51.7%、平均滞在時間は3.46時間(3時間未満が45.3%、3～6時間が44.4%を占め、6時間以上は10.4%)

2. 訪問スポットが中心市街地に集中し、周遊が図られていない

明石市の訪問スポットについては、魚の棚商店街、明石城、兵庫県立明石公園など中心市街地に集中している。

3. 明石ならではの魅力が具体的に認知されていない

明石市を訪れたことがない理由として、「観光地としてのイメージがなかった」、「特に行きたいと思うスポットなどがない」が上位を占め、明石市が観光を楽しむ目的地として十分に認識されていない。